

新住協全国総会に参加して

先日、宮城県松島で行われた新住協の全国総会に参加してきました。今回、私たちは新規参入会員という事もあり社長以下 3 名で参加させていただきました。当日は朝の飛行機で現地に入ったので総会の最初の方は参加できませんでしたが、まずは会場の広さと人数に驚きました。その後に鎌田先生から基調講演があり Q1.0 住宅とパッシブ住宅の共通点等を聞きドイツや新住協の取り組みの先進性にまずは驚かせられました。また、断熱性能が変わらなければ、年間のトータルコストはどの暖房設備でもさほど変わらないという事に驚きました。また窓を熱を取り込む暖房としての機能を持たせるために、何でもトリプル LOW-E にして Q 値を上げればいいというものではないという事も興味深かった内容です。その後、断熱改修で札幌支部の勇和建設さんのリフォーム事例が紹介され、これも今までの私たちの会社内では考えたことがないリフォーム方法だったのでとても面白かったです。また、会員さんが全国からいらしていることもあり、シロアリの対策が切実な問題というのも初めて実感しました。その後に様々発表があり、夜には懇親会がありました。全国から集まった会員さんと楽しい会話を楽しむことが出来ました。皆さん本当に気さくな方ばかりで新規入会で緊張していたのですが皆さんのおかげで楽しい時間を過ごすことが出来ました。それにしても全国からあれだけの皆さんが集まると熱気が凄かったですね。

翌日は住宅見学の方に参加しました。3 件見せていただいたのですが、それぞれが素晴らしく特に 3 件目の K 様邸は資料にあった「老後はこんな暮らしをしてみたいと思う人も出てくるはず。」というコメントの通り、こんな生活が出来たら素敵だなと感じました。贅沢ではない豊かさというものが本当にこういうものかなと実感できる住宅であり、ご夫婦だったと感じています。全ての建物で低ランニングコストや低価格化に向けて工夫が凝らされており今後の住宅設計に向けてとても参考になりました。今後は私どもの会社で提供していく住宅に Q0.1 住宅やパッシブ住宅といった考え方の選択肢も増やしお客様に喜んでいただけたらなって思っています。

今回の総会は本当に勉強になりましたありがとうございます。